

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2022年度 パフォーマンス向上会議情報(2022年4月14日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年4月14日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【2号使用済燃料プールコンテナ内のスイッチングハブ(※)用電源装置(B系)の故障について】 当社社員が、設備巡視において、2号使用済燃料プールコンテナ内のスイッチングハブ用の電源装置(B系)が停止し、前面パネルの表示も消灯していることを確認。 スイッチングハブには、2号機原子炉建屋内排気設備ダスト放射線モニタ監視カメラ、2号燃料取出準備工事監視システム、ダストモニタ監視用カメラの3回線が収容されているが、当該の3回線は別な電源構成回路で供給したことで影響なし。 原因は、電源装置の故障と推定。 今後、当該設備を交換予定。 (※)スイッチングハブ:他の機器を接続する装置のこと。複数の機器に接続された通信ケーブルをスイッチに集めることで、ネットワーク上の異なる機器間の通信を可能にする。</p>	GⅢ	4月11日
2	<p>【Gゾーン用静電防止長靴着用のまま入退域管理棟の退出モニタ通過について】 当社委託員が、入退域管理棟2階のチェックポイントにおいて、Gゾーン(※)用静電防止長靴を履いたまま、退域処理をしようとしている協力企業作業員を発見。 なお、当該作業員の履いていた靴は、退出モニタで測定して通過しているため、汚染は無いことを確認。 今後、原因を調査し再発防止策を検討予定。 ※Gゾーン:一般作業服エリア</p>	GⅢ	4月12日